

2023年度
学校だより
第2号

しもね

牛久市立下根中学校
令和5年5月15日
文責 校長 立花勝行

令和5年度 下根中学校グランドデザイン ～「幸せな学校」を目指して～

5月9日に本年度第1回の学校運営協議会が開催され、グランドデザインが承認されましたので、裏面に掲載いたします。

本校の学校経営の核はあくまでも「授業」です。授業をとおして、「一人残らず質の高い学びを保障する学校づくり」をし、授業をとおして、生徒達に「夢中と安心」を提供できるような学校。つまり、「幸せな学校」を目指します。

既に、何回か校内授業研修を行っていますが、5月11日（木）に本年度初めてスーパーバイザーをお迎えしての授業研修会を行いました。スーパーバイザーには、よくなった点もご指摘いただきましたが、新たな課題も見つかりました。本年度も、その課題一つ一つを解決していけるように研鑽を積んでいきたいと思っております。



さて、昨年度のグランドデザインと大きく変わったところはありませんが、ミッションの中に、「地域とともにある学校を目指す。」という項目を入れました。未来を担う生徒達を、保護者の方々は勿論、地域の方々と学校が、学校運営協議会の方々の協力を得ながら、一緒になって育てていきたいという思いから、入れさせていただきました。どうぞ、ご協力よろしくお願ひいたします。

ご協力、ありがとうございました。～授業参観・学年学級懇談・引き渡し訓練～

4月23日（日）に授業参観を実施しました。また、本当に久しぶりに学級・学年懇談を実施することができました。そして、学級・学年懇談では保護者の皆様からいろいろな話を伺うことができました。今後の学校経営に活かしていきたいと思っています。

また、5月2日（火）には、引き渡し訓練を実施することができました。学校としても久しぶりの訓練でしたので、前日に全職員でリハーサルをして当日に臨みました。保護者の皆様におかれましては、ご多用のところご協力ありがとうございました。



【引き渡し訓練の様子】

「いじめの定義」について

「いじめの定義」につきましては、年度初めに授業を展開し、生徒達には周知しています。また、学校生活アンケートを実施する度にアンケート用紙に掲載し、生徒達が振り返ることができるようにしています。昨年度の学校だよりにも掲載させていただきましたが、保護者の皆様、地域の皆様にも知っておいていただきたく、改めて掲載させていただきます。どうぞ、ご一読いただければと思います。

【いじめの定義】

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

令和5年度下根中学校グランドデザイン

本県の教育目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性を培う
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し
協力し合う心を育てる



本市の教育目標

知性にとみ心身ともに健康で
人間性豊かな児童生徒を育てる

一人残らず質の高い学びを
保障する学校づくり

下根中学校区の目指す幼児・児童・生徒像

のびのび良さを伸ばす子
自分で考えやりぬく子
心豊かで互いに協力し合う子
心身ともにたくましい子

学校教育目標

共に学び共に育つ楽しさを実感できる学校

賢く
深く考える

正しく
尊重する

遅しく
協働する

中期目標

すべての授業における主体的・対話的で深い学びの精緻化
主体的に学び続ける教職員集団づくり
9年間を見通した授業づくりを中心とした幼小中一貫教育の推進

組織目標

- ① 学校経営の哲学とビジョンを共有しミッションを遂行する。
- ② 総合的な学習の時間及び特別活動を充実させる。

- ◇経営哲学 : 民主性・公共性・卓越性を教育活動の基盤とする。
- ◇ビジョン : 幸せな学校
- ◇ミッション : 協働的な学び・リスペクト・ケアリングにより質の高い教育を提供する。
: すべての生徒が自分の力で幸せになれるよう自立支援する。
: 「誰かのために役に立とうとする生徒」を育成する。
: 地域とともにある学校を目指す。

<p>◇深く考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの深化と知のネットワークの精緻化 ・振り返りと評価からのバックワードデザイン ・教科の本質を埋め込んだ夢中になる課題設定 ・聴き合うことで学びを深め合う共有の時間 ・思考や表現のツールとしてのICT活用 	<p>◇互いに尊重し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスペクトによるやわらかい人間関係づくり ・基盤とした安心（居場所）の提供 ・互恵的な学びを実現する授業づくり ・多様性を尊重する授業による生徒指導 ・全教職員による特別支援教育の質的向上
<p>◇仲間と協働する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手段としての協働と目的としての協働 ・各教科と特活で育てる資質能力の関連づけ ・協働によるカリキュラム・マネジメント ・授業公開と省察による教員の指導力向上 ・経験や背景の違いや多様性で深め合う道徳性 	<p>◇地域と共に育つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の授業づくりへの参画推進 ・防犯訓練を通じた地域との連携強化 ・地域資源や市役所と連携した総合的な学習の時間における探究活動の進化 ・SDGsによる学校と地域との繋がり育成
<p>◇教育課程を社会に開く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な授業公開 ・地域の人的・物的資源の開発と活用 ・教育活動の積極的な情報発信 ・学校運営協議会からの情報発信 ・学校評価の効果的活用 	<p>◇働き方改革で教育の質を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先行提示による公文書作成事務の効率化 ・情報の自己管理による授業準備時間の短縮 ・意識改革によるタイムパフォーマンスの向上 ・相手意識による提出期限の遵守 ・学校事務効率化のためのICT活用

みんなが主役の下根中

～世界で最も幸せな学校を目指して～